Komaba Tuition Centre
KOMABA

中学１年生

国語

６月 12 日

授業で使用するもの：**筆記用具・このプリント(またはノートか裏紙)・Sirius**

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

中学生漢字テスト

⑳ ⑲ ⑱ ⑰ ⑯ ◆◇◆次の漢字を使って文を作りなさい。 ⑮ ⑭ ⑬ ⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

講師が授業中に指示します。
解答は別のノートなどに書き込んでも構いません。

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

一　次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

あきのひ

のぎくみちこ

かぜが
とおりすぎました
①わたしは　はなびらを
ゆすりました
だれかに　よばれたきがして
ふりかえると
②ゆうひが　くるくると
しずむところでした

けやきだいさく

わしの　③しんぞうは
たくさんの
ことりたちである
ふところに　だいて
とても　あたたかいのである
だから　わしは
いつまでも
いきていくのである
だから　わしは
④いつまでも
いきていて　よいのである

【1】「あきのひ」の詩について、

問一　この詩は、秋の一日のうちの、いつごろをえがいていますか。漢字二字で書きなさい。

問二　―線部①「わたしは　はなびらを／ゆすりました」とありますが、「のぎく　みちこ」のどのような様子を表現しているか。最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア．風がふいて、はなびらが散った様子。
イ．風がふいて、はなびらがゆれた様子。
ウ．夕日が当たって、はなびらがかがやいた様子。
エ．夕日がしずんで、はなびらがしぼんだ様子。

問三　―線部②「ゆうひが　くるくると／しずむところでした」から、どんな感じを受けますか。最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア．重々しくしずむ感じ。　　イ．ゆっくりしずむ感じ。
ウ．みるみるしずむ感じ。　　エ．静かにしずむ感じ。

【2】「いのち」の詩について、

問四　この詩にくり返されている特徴的な文末表現を、詩の中から三字で書き抜きなさい。

問五　―線部③「しんぞう」について、ここでの意味として、最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア．幹のいちばん太いところ。　　イ．血を作り出しているところ。
ウ．いのちのもとになるところ。　　エ．さかんに動いているところ。

問六　―線部④「いつまでも／いきていて　よいのである」と、「けやき　だいさく」が考えているのはなぜですか。「けやき　だいさく」の考えがわかるように、「いのち」の語を使って、二十字以内で書きなさい。

二　次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

「お菓子買いに行こうや。」
「駅前に新しくできたスーパーな。あそこなら安いし。」
今日の放課後、何人かの男子で盛り上がっていた。「僕も行こうかな。」そう言うすき間はいくつかあって、間もあった。でも、声は出なかった。入学式から何度かのきっかけをやり過ごしていく中で、①ハードルは高くなるばかりだった。
「いってらっしゃい、気をつけてな。」
ばあちゃんは「大人は待っとっても何もやって来てくれんから、探さんとあかんわ。次は何しようかな。」と地域の文化教室のお知らせを見ながら僕を見送った。
スーパーにはみんながいるかもしれないから、僕は②駅とは反対方向の小さな駄菓子屋に向かった。「いらっしゃい。」と眼鏡をかけたおじいさんがかすれた声で言うのに、「どうも。」と軽く頭を下げながら、お菓子を探す。この期におよんで、みんなと交換しやすい物がいいな、なんて考えてしまう③自分が情けない。
「ここにも売ってるんだ。」
いくつかお菓子をかごに入れた僕は、なつかしいパッケージを見つけ手に取った。昔よく食べたかたい梅干しのお菓子。父さんが好きだったせいで、僕は幼稚園のころから気に入って食べては、すっぱいのにと周りをおどろかせていた。でも、これじゃだれも欲しがらないよな。そう思って棚にもどそうとすると、
「お、俺もそれ買おうと思ててん。」
と声が聞こえた。毎朝聞いている声だ。振り返ると、川口君がいた。
「宮下君も、梅干しのお菓子、好きなんや。」
と聞かれて、僕は「すっぱいけどね。」とうなずいた。
「せやねん。すっぱいのに俺はじいちゃんが好物やから、しょっちゅう食べてる。」
「僕も小さいころから食べてた。」
「そうなんや。」
「うん。そう。」
「そっか。」
教室の外で会ったって、相変わらず僕らの会話はたどたどしい。
「……えっと、明日の野外学習にこれ、持って行こうかな。」
僕がとどこおりそうな空気をぶっ切るように、お菓子をかごに入れると、
「ああ、俺も。つかれたとき、梅干し食べるとええって言うし。」
と川口君も手に取った。
川口君と僕はいつもと同じようにぎこちない。ついでに、店を出ると最近続いているぼんやりとした花曇りだ。でも、④僕が手に提げた小さなふくろの中にはあまずっぱい梅干しがちゃんと入っている。

問一　―線部①「ハードルは高くなるばかりだった。」とありますが、これは「僕」のどのような様子を表していますか。二十字以内で書きなさい。

問二　―線部②「駅とは反対方向の小さな駄菓子屋に向かった。」とありますが、「僕」がそうしたのはなぜですか。最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア．自分を分かってくれないばあちゃんに反抗しようと思ったから。
イ．みんなにめずらしがられるお菓子を買うつもりだったから。
ウ．すいている時間にずらしてスーパーに行こうと思ったから。
エ．スーパーでみんなと会ってしまうことに気が進まないから。

問三　―線部③「自分が情けない。」とありますが、「僕」は自分のどんなところが情けないのですか。書き出しに続く形で、二十五字以内で書きなさい。

●クラスメートがいないような店を選んで来たのに、（　二十五字以内　。）

問四　川口君も「梅干しのお菓子」が好きだと知った「僕」の気持ちの変化が表れた行動を、文章中から二十九字で抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

問五　―線部④「僕が手に提げた……ちゃんと入っている」とありますが、
（1）「梅干し」は、「僕」にとってどんなものだと考えられますか。「状況」の語を使って、二十字程度で書きなさい。
（2）ここから、「僕」のどんな気持ちが感じられますか。二十字以内で書きなさい。

三　次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

【1】それでは、私たちが普段食べている①ダイコンの白い部分はどの器官なのでしょうか。漢字で「大根」と書くくらいですから、根のように思うかもしれませんが、そんなに単純ではありません。

【2】その疑問に答えるために、ダイコンの芽であるカイワレダイコンを見ながら考えてみます。カイワレダイコンは、双葉と根、その間に伸びた胚軸とよばれる茎から成り立っています。根の部分には、種から長く伸びた主根と、主根から生えている細いひげのような側根があります。

【3】これに対して、私たちが食べるダイコンをよく見てみると、下の方に細かい側根が付いていたり、側根の付いていた跡に穴が空いていたりするのがわかります。ダイコンの下の方は主根が太ってできているのです。［　　］、ダイコンの上の方を見ると、側根がなく、すべすべしています。この上の部分は、根ではなく胚軸が太ったものです。つまり、ダイコンの白い部分は、根と胚軸の二つの器官から成っているのです。

【4】この二つの器官は、じつは味もちがっています。なぜ、ちがっているのでしょう。

【5】②胚軸の部分は水分が多く、甘みがあるのが特徴です。胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているからです。

【6】［　　］、根の部分は辛いのが特徴です。ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには、③植物の知恵ともいえる理由が隠されています。

【7】根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。④これは、いずれ花を咲かす時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛み成分を蓄えているのです。ダイコンの辛み成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛みを発揮するような仕組みになっています。そのため、⑤たくさんの細胞が壊れるほど辛みが増すことになります。

【8】これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、⑥大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛みが増します。逆に、円を描くようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛みが抑えられるのです。

問一　この文章を大きく三つのまとまりに分けるとしたら、どのように分けることができますか。それぞれの段落の番号を、漢数字ですべて書きなさい。

問二　文章中の［　　］には同じ言葉が入ります。あてはまる言葉を次から選んで書きなさい。

【　しかし　　例えば　　さらに　　いっぽう　　そして　】

問三　―線部①「ダイコン」の上の部分と下の部分は、それぞれ「カイワレダイコン」のどの部分がどうなったものですか。文章中の言葉を使って、それぞれ十字以内で書きなさい。

問四　―線部②「胚軸の部分は水分が多く」とありますが、その理由を「～役割をしているから。」に続く形で、二十字内で書きなさい。

問五　―線部③「植物の知恵」とありますが、これはどういうことですか。それを説明した次の文のA、Bに入る言葉として適切な言葉をそれぞれ十字以内で二つ書き抜きなさい。

●ダイコンは（　A　）ために、根の部分に（　B　）こと。

問六　―線部④「これ」とは何ですか。文章中から九字で書き抜きなさい。

問七　―線部⑤「たくさんの細胞が壊れるほど辛みが増す」のはなぜですか。書き出しに続く形で、三十字以内で書きなさい。

●根の部分の細胞にふくまれる辛み成分は、（　三十字以内。　）

問八　―線部⑥「大根下ろし」の作り方を、辛いのが好きな小学生に教えるにはどのように言えばよいですか。次の条件に従って書きなさい。

《条件》①ダイコンのどの部分を、どう下ろせばよいか書くこと。
②小学生に話す口調で、簡潔に書くこと。

二〇一七年度総合考査Ⅰ　中一国語　解答

一、

（問一）夕方　（問二）イ　（問三）ウ　（問四）である　（問五）ウ
（問六）ことりたちの命を守っているから。

二、

（問一）友達を作るのがどんどん難しくなる様子。　（問二）エ
（問三）（クラスメートがいないような店を選んで来たのに、）みんなと交換しやすい物がいいなと考えてしまうこと。　（問四）（初め）とどこおり　（終わり）ごに入れる
（問五）（1）とどこおりそうな状況をふっ切ったもの。（2）友達を作ることに対して前向きな気持ち。

三、

（問一）（まとまり1）一・二・三　（まとまり2）四・五・六・七　（まとまり3）八　（問二）いっぽう
（問三）（上の部分）胚軸が太ったもの。（下の部分）主根が太ったもの。
（問四）根で吸収した水分を地上の茎や葉に送る（役割をしているから。）
（問五）A：虫の外から身を守る　B：辛み成分を蓄えている　（問六）葉で作られた栄養分
（問七）（根の部分の細胞にふくまれる辛み成分は、）細胞が破壊されると辛みを発揮する仕組みになっているから。　（問八）（例）ダイコンの下の部分を力強く直線的におろすといいですよ。

四、

（問一）A：エ　B：カ　C：イ　（問二）左の図を見
（問三）①橋　②背景になってしまう　③少女
（問四）今見えているおばあさんの絵を意識して捨て去る必要がある。　（問五）イ
（問六）・中心に見るものを変えること。・見るときの距離を変えること。　（問七）エ

五、

（問一）（1）ア・イ・エ　（2）ウ・オ　（問二）（1）ぎょうにんべん　（2）のぎへん　（3）ひとやね
（問三）（1）熟語：思想　部首名：こころ　（2）熟語：鉄鋼　部首名：かねへん
（3）熟語：地域　部首名：つちへん

六、

（問一）（1）やっかい　（2）ようさい　（3）つむ　（4）けいしょう　（5）かげる　（6）とうちほう
（7）ついやす　（8）けいさい　（9）しょっかく　（10）ざんしん
（問二）（1）懸ける　（2）幼稚　（3）被る　（4）陰影　（5）崩落　（6）滴　（7）静寂　（8）段落
（9）抑揚　（10）震災　（11）延びる　（12）架かる

一　次の文章を読んで後の問に答えなさい。

「おはよ。」とつぶやきながら教室に入ると、同じようなぼそりとした反応が返ってくる。中学生活が始まって三週間。①僕にはまだ友達といえるものはできていない。小学校のときは②もう少し簡単だったはずなのに、なかなかうまくいかない。

「今日も曇りやな。じいちゃんが③花曇りって言ってたけど、四月は意外と天気悪い日が多いねんな。」

座席に着くと、となりの川口君が声をかけてきた。川口君は毎朝、先生が来るまでの間話しかけてくる。けれど、④それはいつだってうまくつながらない。

「⑤あ、ああ。そうなんだ。」

それで会話は終了。川口君も僕もさっきより⑥空気を持て余して、窓の外を見つめるしかなくなってしまう。

「これで桜が全部散ってしまうな。」と言えばよかったとか、「花曇りって何。」ときけばよかったとか。思いつくのは後になってからだ。晴れることを放棄したようなぼやけた空に、⑦僕は今日も生ぬるい息をはいた。

問一　①「僕」と川口君が打ち解けていないことが分かる表現を、本文中から九字で抜き出しなさい。

問二　②「もう少し簡単だった」とありますが、それはどのようなことですか。八字程度で書きなさい。

問三　③「花曇り」とありますが、

1　それは「僕」のどのような様子をたとえていますか。「友達」という言葉を使って、十五字以上二十字以内で書きなさい。

2　それは「僕」のどのような気持ちを表していますか。適切な表現を次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、憂うつ　　イ、期たい　　ウ、不安　　エ、緊張

3　花曇りと「僕」の気持ちとが重なる情景描写を本文中から十八字で抜き出し、初めと終わりの三字を書きなさい。

問四　④「それ」が指す内容を本文中の言葉を用いて八字程度で書きなさい。

問五　⑤「あ、……なんだ」と答えたときの「僕」の気持ちとして適切な表現を次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、おどろき　　イ、とまどい　　ウ、おそれ　　エ、悲しみ

問六　⑥「空気を持て余して」とありますが、

1　その雰囲気を指す表現として適切なものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、張り詰めた　　イ、険悪な
ウ、なごやかな　　エ、間の悪い

2　その時「僕」と川口君がとった行動描写を本文中から十字以内で抜き出しなさい。

問七　⑦「僕は今日も生ぬるい息をはいた」とありますが、

1　その時の「僕」の様子として適切なものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、一日が終わってほっとしている様子
イ、自分に腹を立てている様子
ウ、川口君に不満を抱いている様子
エ、気力がわかない様子

2　その時の「僕」の気持ちとして適切なものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、後悔する気持ち　　イ、いらいらする気持ち
ウ、退屈する気持ち　　エ、気まずい気持ち

二　次の文章を読んで後の問に答えなさい。

「いらっしゃい。」と眼鏡をかけたおじいさんがかすれた声で言うのに、「どうも。」と軽く頭を下げながら、お菓子を探す。①この期におよんで、みんなと交換しやすい物がいいな、なんて考えてしまう自分が情けない。

「ここにも売ってるんだ。」

いくつかお菓子をかごに入れた僕は、なつかしいパッケージを見つけ手に取った。昔よく食べたかたい梅干しのお菓子。父さんが好きだったせいで、僕は幼稚園のころから気に入って食べては、すっぱいのにと周りをおどろかせていた。でも、これじゃだれも欲しがらないよな。そう思って棚にもどそうとすると、

「お、俺もそれ買おうと思ててん。」

と声が聞こえた。毎朝聞いている声だ。振り返ると、川口君がいた。

「宮下君も、梅干しのお菓子、好きなんや。」

と聞かれて、僕は「すっぱいけどね。」と［　　］。

「せやねん。すっぱいのに俺はじいちゃんが好物やから、しょっちゅう食べてる。」

「②僕も小さいころから食べてた。」

「そうなんや。」

「うん。そう。」

「そっか。」

教室の外で会ったって、相変わらず僕らの会話はたどたどしい。

……えっと、明日の野外学習にこれ、持って行こうかな。」

僕がとどこおりそうな空気をぶった切るように、お菓子をかごに入れると、

「ああ、俺も。つかれたとき、梅干し食べるとええって言うし。」

と川口君も手に取った。

川口君と僕はいつもと同じようにぎこちない。ついでに、店を出ると最近続いているぼんやりとした花曇りだ。でも、僕が手に提げた小さなふくろの中には③あまずっぱい梅干しがちゃんと入っている。

問一　「僕」と川口君とのやりとりが、いつもとぎれとぎれであることがよくわかる言葉を本文中から六字以内で二つ抜き出しなさい。

問二　①「この期におよんで……いいな」とありますが、そう考えてしまう自分のことを「僕」はどう思っていますか。本文中から五字以内で抜き出しなさい。

問三　本文中の［　　］に当てはまる言葉として適切なものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、強がった
イ、うなずいた
ウ、言い返した
エ、首を横に振った

問四　②「僕も小さいころから食べてた」と答えた「僕」が川口君との間に見つけたのは何ですか。漢字三字で書きなさい。

問五　③「あまずっぱい梅干しがちゃんと入っている」とありますが、このときの「僕」の気持ちとして適切なものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、このお菓子を野外活動の時に自慢したい。
イ、このお菓子のおかげでうまくいきそうだ。
ウ、このお菓子を持って行くのは恥ずかしい。
エ、このお菓子のおかげで疲れずに済みそうだ。

問六　僕が今までの状態を変えようと決意したことがわかる部分を、本文中から三十一字で抜き出し、初めの三字を書きなさい。

四　次の文章を読んで後の問に答えなさい。

それでは、私たちが普段食べているダイコンの白い部分はどの器官なのでしょうか。漢字で「大根」と書くくらいですから、根のように思うかもしれませんが、そんなに単純ではありません。

その疑問に答えるために、ダイコンの芽である①カイワレダイコンを見ながら考えてみます。カイワレダイコンは、双葉と根、その間に伸びた胚軸とよばれる茎から成り立っています。根の部分には、種から長く伸びた主根と、主根から生えている細いひげのような側根があります。

これに対して、私たちが食べるダイコンをよく見てみると、下の方に細かい側根が付いていたり、側根の付いていた跡に穴が空いていたりするのがわかります。ダイコンの下の方は主根が太ってできているのです。いっぽう、②ダイコンの上の方を見ると、側根がなく、すべすべしています。この上の部分は、根ではなく胚軸が太ったものです。つまり、ダイコンの白い部分は、根と胚軸の二つの器官から成っているのです。

この二つの器官は、じつは味もちがっています。なぜ、ちがっているのでしょう。

胚軸の部分は水分が多く、甘みがあるのが特徴です。胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているからです。

いっぽう、根の部分は辛いのが特徴です。③ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。④ここには、⑤植物の知恵ともいえる理由が隠されています。

根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花を咲かす時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛み成分を蓄えているのです。ダイコンの辛み成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛みを発揮するような仕組みになっています。［　　］、たくさんの細胞が壊れるほど辛みが増すことになります。

⑥これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛みが増します。逆に、円を描くようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛みが抑えられるのです。

問一　①「カイワレダイコン」とありますが、それを構成する部分を本文中からそれぞれ二字以内で三つ抜き出しなさい。

問二　②「ダイコンの上の方」の特徴を書いた部分を本文中から十五字で抜き出し、初めの三字を書きなさい。

問三　③「ダイコンは……増していきます。」とありますが、それはなんのためですか。「花」、「虫」の二語を必ず使って、三十字以内で書きなさい。

問四　④「ここ」が指す内容を本文中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。

問五　⑤「植物の知恵」とありますが、それを具体的に説明している段落を本文中から抜き出し、初めの三字を書きなさい。

問六　文章中の［　　］に入る言葉を次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、しかも　　イ、それから　　ウ、さらに　　エ、そのため

問七　⑥「これらの特徴を活用して調理すると」とありますが、「これらの特徴」として適切でないものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、辛み成分は化学反応によって辛みを発揮すること。
イ、ダイコンは虫にかじられると辛みを発揮すること。
ウ、ダイコンは壊れる細胞が多いほど辛みをますこと。
エ、ダイコンは下のほうが十倍も辛み成分が多いこと。

問八　ダイコンの辛み成分について、この文章の内容に合うものを次のア～エから二つ選び記号で答えなさい。

ア、根の栄養分が多いほど辛みが増す。
イ、辛み成分は普段は細胞の中にある。
ウ、辛みは虫を引き付ける働きがある。
エ、辛みは花を咲かすときに栄養分になる。
オ、たくさんの細胞が壊れるほど辛味が増す。

問九　ダイコンの胚軸の部分が果たす役割を本文中の言葉を用いて十字程度で二つ書きなさい。

問十　この文章の説明方法の工夫として、最も適切なものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア、先に結論を述べ、後でその理由を説明している。
イ、話題のものを別のものと比較して説明している。
ウ、人から聞いたことをもとに説明している。
エ、実験の結果の内容をもとに説明している。

二〇一六年度　総合考査Ⅰ　中一国語　解答

一

（問一）うまくつながらない　（問二）友だちを作ること。

（問三）1：友達が出来なく、ぽっとしない様子。　2：ア　3：晴れるしけた空

（問四）川口君との会話　（問五）イ　（問六）1：エ　2：窓の外を見つめる　（問七）1：エ　2：ア

二

（問一）たどたどしい・ぎこちない　（問二）情けない。　（問三）イ　（問四）共通点　（問五）イ

（問六）僕がと

三

（問一）ウ　（問二）橋（と）　少女　（問三）優勝カ　（問四）Ⅰ：二人の顔　Ⅱ：つぼ

（問五）A：ア　B：ウ　C：オ　（問六）イ　（問七）一瞬の　（問八）ア

（問九）目を遠ざけてみると（良い。）

（問十）一つの風景でも、見るときの距離を変えれば違って見えること。

（問十一）その物の他の面に気づき、新しい発見の驚きや喜びを味わうことができるから。

（問十二）1：4　2：10

四

（問一）双葉・根・胚軸　（問二）側根が

（問三）花を咲かすための養分を、虫に食べられないようにするため。

（問四）ダイコンは下の部分に辛み成分が多い　（問五）根には　（問六）エ

（問七）1：イ　2：ウ　（問八）イ・オ　（問九）栄養分を根に送る役割。・水分を茎や葉に送る役割。

五

（問一）1：ウ　2：日本で見ら

（問二）1：(文節)四　(単語)五　2：(文節)五　(単語)九　3：(文節)四　(単語)七

六

①い　②さか　③みょうじょう　④こうたく　⑤かくう　⑥抜群　⑦振幅　⑧政策　⑨懲元　⑩恭順

⑪隠居　⑫束縛　⑬荒涼　⑭嘆く　⑮摘む　⑯伸縮　⑰辛苦　⑱蓄積　⑲縦断　⑳抑揚

ここから先は、テスト勉強用に使ってください！！

教科書14～15ページ

練習問題 1

◆次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

あしたこそ
　たんぽぽ　はるか
ひかりを　おでこに
くっつけて
はなひらく　ひを
ゆめにみて
たんぽぽわたげが
まいあがります
とんでいこう　どこまでも
あした
①たくさんの「こんにちは」に
であうために

おれはかまきり
　かまきり　りゅうじ
おう　なつだぜ
おれは　げんきだぜ
あまり　ちかよるな
②おれの　こころも　かまも
どきどきするほど
ひかってるぜ

おう　あついぜ
おれは　がんばるぜ
③もえる　ひをあびて
かまを　ふりかざす　すがた
わくわくするほど
きまってるぜ

（工藤直子「野原はうたう」より）

(1) 「あしたこそ」の第一連からどんなことが読み取れるか。次の文の［　］に当てはまる言葉を詩の中から書き抜きなさい。

自分の未来に［　　］を抱いて、新しい世界に向かって出発しようとしていること。

(2) 記述 ——線①「たくさんの『こんにちは』に／であう」とは、どんなことを表しているか。簡潔に書きなさい。

［　　］

(3) よく出る ——線②「おれの　こころも　かまも／どきどきするほど／ひかってるぜ」とあるが、ここからかまきりのどのような様子が捉えられるか。次の文の［　］に当てはまる言葉を考えて書きなさい。

［　　］にも［　　］にも［　　］がみなぎっていて、今、まさに生きていることを実感して、気持ちが高まっている様子。

(4) ——線③「もえる　ひをあびて／かまを　ふりかざす　すがた」について、次の各問いに答えなさい。

①「もえる　ひ」とは何のことか。漢字二字で書きなさい。［　　］

②　この「すがた」は、どんな姿だといえるか。次から一つ選びなさい。［　　］

ア　自分が最も強いといばっている姿。
イ　むきになって何かに向かっていく、投げやりな姿。
ウ　いちばん自分らしいと思える、自信に満ちた姿。
エ　強くたくましいものに、いつかなりたいと思っている姿。

教科書17ページ

練習問題2

◆次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

いのち　　けやきだいさく

わしの　しんぞうは
①たくさんの
ことりたちである
ふところに　だいて
②とても　あたたかいのである
だから　わしは
いつまでも
いきていくのである
③だから　わしは
いつまでも
いきていて　よいのである

（工藤直子「野原はうたう」より）

(1) ——線①「たくさんの／ことりたち」を、何にたとえているか。詩の中から五字以内で書き抜きなさい。

(2) ——線②「とても　あたたかいのである」とあるが、なぜこのように感じるのか。その理由として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　集まってきた小鳥たちがにぎやかにさえずっているから。
イ　小鳥たちがたくさん飛んでくる季節になったから。
ウ　小鳥たちのぬくもりが自分を生かしているように感じているから。
エ　自分が長く生きてきたことを小鳥たちが喜んでくれているから。

(3) よく出る ——線③「だから　わしは／いつまでも／いきていて　よいのである」からは、けやきのどのような様子が読み取れるか。次の文の□に当てはまる言葉を考えて書きなさい。

小鳥たちと自分の□がつながっていることを実感し、□ことへの肯定感を感じている様子。

(4) この詩の特徴を述べたものとして適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア　短い言葉の繰り返しが、語り手の性格を暗示している。
イ　平仮名で書くことで、命のはかなさを伝えている。
ウ　繰り返しによって、語り手の気持ちを強調している。
エ　言葉の使い方で語り手が年を取っていることを感じさせている。
オ　難解な言葉が多用されていて、近寄りがたい印象を与えている。

教科書14～17ページ

定期テスト予想問題

野原はうたう

工藤直子

／100

■ 次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

あしたこそ
たんぽぽ　はるか

ひかりを　おでこに
くっつけて
はなひらく　ひを
ゆめにみて
たんぽぽわたげが
まいあがります

とんでいこう　どこまでも
あした
たくさんの「こんにちは」に
であうために

おれはかまきり
かまきり　りゅうじ

おう　なつだぜ
おれは　げんきだぜ
あまり　ちかよるな
おれの　こころも　かまも
どきどきするほど
ひかってるぜ

おう　あついぜ
おれは　がんばるぜ
もえる　ひをあびて
かまを　ふりかざす　すがた
わくわくするほど
きまってるぜ

（工藤直子「野原はうたう」より）

(1) 「あしたこそ」にうたわれているたんぽぽの様子として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（20点）

ア　遠くへ旅立つことをためらっている。
イ　新しい生活や出会いに希望と期待をもっている。
ウ　知らない場所に行くことに不安を感じている。
エ　期待が裏切られることをおそれている。

（　　）

(2) 記述 「あしたこそ」の第二連には、どのような表現上の特徴があるか。簡潔に書きなさい。（30点）

言葉や文の順序が

（　　）

(3) 「おれはかまきり」にうたわれているかまきりの様子として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（20点）

ア　攻撃的な気持ちで、獲物を探している。
イ　自分が世の中でいちばんえらいとうぬぼれている。
ウ　生きる力と元気に満ちて、身も心もはずんでいる。
エ　孤独で寂しい気持ちを必死に打ち消している。

（　　）

(4) 「おれはかまきり」は、どのように音読するのがよいか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（30点）

ア　乱暴で投げやりな感じで、不機嫌そうに読む。
イ　堂々と自信に満ちた感じで、元気に読む。
ウ　怒りを内に秘めているような感じで、重々しく読む。
エ　周りの人を威圧するような感じで、えらそうに読む。

（　　）

2 花曇りの向こう

教科書 26〜34・36〜39ページ

瀬尾まいこ／わかりやすく説明しよう

■■漢字のチェック

次の――線部の漢字は読み方を平仮名で、太字の片仮名は漢字で書いて答えなさい。送り仮名が付くものは、平仮名で送り仮名も書きなさい。

1 読み

①（　）曇り
②（　）曇天
③（　）僕
④（　）慣れる
⑤（　）勢い
⑥（　）頭痛
⑦（　）抑える
⑧（　）抑圧
⑨（　）お菓子
⑩（　）欲しがる
⑪（　）棚
⑫（　）提げる

2 書き

①（　）みそシルを作る。
②（　）りんごカジュウ
③（　）ドアをオサエル。
④（　）父のテンキン。
⑤（　）絵画のテンランカイ。
⑥（　）無理ナンダイ
⑦（　）ザセキが空く。
⑧（　）陸上キョウギ
⑨（　）ヤッカイな問題。
⑩（　）テキと戦う。
⑪（　）勝利の大カンセイ。
⑫（　）大事な点がヌケル。
⑬（　）バツグンの成績。
⑭（　）チイキの行事。
⑮（　）ヨウチエンに通う。
⑯（　）オレの家族。
⑰（　）過去をフリカエル。
⑱（　）車のシンドウ。

わかりやすく説明しようの漢字（36〜39ページ）

■■漢字を確認しよう（34ページ）

次の――線部の漢字は読み方を平仮名で、太字の片仮名は漢字で書いて答えなさい。送り仮名が付くものは、平仮名で送り仮名も書きなさい。

1 読み

①（　）大切なコトガラ。
②（　）かさのエを握る。
③（　）付箋
④（　）月がシズム。
⑤（　）地盤がチンカする。
⑥（　）実際

2 書き

①（　）煎茶
②（　）煎る
③（　）斬新
④（　）斬る
⑤（　）華美
⑥（　）華がある。
⑦（　）茶菓
⑧（　）抑揚
⑨（　）仮名文字
⑩（　）ボクジュウを使う。
⑪（　）スミエを描く。
⑫（　）貝のカラ。
⑬（　）チカク変動
⑭（　）キバツな模様。
⑮（　）家に入りコム。
⑯（　）気分のシンプクが大きい。
⑰（　）ハバがある。
⑱（　）和解のカンコク。
⑲（　）入部をススメル。
⑳（　）自己ショウカイ
㉑（　）才能をハッキする。

教科書27～29ページ

練習問題 1

◆次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学校で二回、それに今回。僕は通算三回も転校をしている。「父さんの仕事の都合」、それだけの理由で、遊び慣れた場所とも気が合う仲間とも、あっさりさよならだ。僕ら子供は、意思と関係なく①無理難題をふっかけられる。好き勝手にやっているフラダンスやパッチワークといっしょにされちゃ困る。

「いつまでもぼそぼそ食べてんと、②おなか痛いんやったら、梅干し食べとき。」

ばあちゃんは僕の皿に梅干しを乗っけると、片づけのために立ち上がった。捻挫に頭痛に腹痛。ばあちゃんは何でも梅干しでよくなると思っている。

「おはよ。」とつぶやきながら教室に入ると、同じような［A］した反応が返ってくる。中学生活が始まって三週間。僕にはまだ友達といえるものはできていない。小学校のときはもう少し簡単だったはずなのに、③なかなかうまくいかない。

「今日も曇りやな。じいちゃんが花曇りって言ってたけど、四月は意外と天気悪い日が多いねんな。」

座席に着くと、となりの川口君が声をかけてきた。川口君は毎朝、先生が来るまでの間話しかけてくる。けれど、それはいつだって④うまくつながらない。

「あ、ああ。そうなんだ。」

それで会話は終了。川口君も僕もさっきより⑤空気を持て余して、窓の外を見つめるしかなくなってしまう。

「これで桜が全部散ってしまうな。」と言えばよかったとか、「花曇りっ

(1) ——線①「無理難題をふっかけられる」とあるが、「無理難題」とは「僕」の場合ではどういうことか。次の文の［　］に当てはまる言葉を文章中から書き抜きなさい。

自分の［　　］とは関係なしに、親の仕事の［　　］で［　　］と別れて、知らない場所へ行かなくてはならないこと。

(2) ——線②「おなか痛いんやったら、梅干し食べとき」とあるが、このとき「僕」にとって「梅干し」はどういうものだったか。その説明として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（　　）

ア　ばあちゃんの思いやりを表しているもの。
イ　「僕」の痛みを治すどころか、悪化させるもの。
ウ　うまく使えば心の痛みも治してくれるもの。
エ　「僕」の悩みを解決することはできないもの。

(3) ［　　］A・Bに当てはまる言葉として最も適切なものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

A（　　）　B（　　）

ア　こっそりと　　イ　ぐさりと
ウ　ぼそりと　　エ　ほっと
オ　するりと　　カ　ずらりと

(4) ——線③「なかなかうまくいかない」とあるが、何がうまくいかないのか。簡潔に書きなさい。

新しい学校で（　　）こと。

て何。」ときけばよかったとか。思いつくのは後になってからだ。晴れることを放棄したようなぼやけた空に、僕は今日も生ぬるい息をはいた。

「こっちこっち、パス。」

か細い雨が降っているせいで、今日の体育はバスケットボールだった。まだなじんでない仲間とのチーム競技は、なかなか厄介だ。だけど、僕はバスケットは得意だった。⑥今日はなんとかなるかもしれない。僕は俊敏に体を動かした。敵のボールをカットすると、わっと歓声が起こった。チャンスだ。はやる気持ちを抑えて、ドリブルしながら辺りをうかがう。ゴール下にはみんながあふれているけど、左にずれた山崎君の前だけぽかりと空いている。ここだ。僕はねらいを定めて、するどいボールを送った。いいパスだったはずだ。ところが、山崎君の手に当たって、ボールはぽとりと落ちた。今日もわずかなとっかかりは［B］抜け落ちていった。

（瀬尾まいこ「花曇りの向こう」より）

間違いやすい漢字を押さえよう

太字は文章中に出てくる漢字です。

・同音異字に注意！

オサエル
- **抑える**　例　はやる気持ちを抑える。
- **押さえる**　例　要点を押さえる。

・形の似ている漢字に注意して練習しよう！

- **厄介**
- **危険**

厄	介		
危	険		

(5) 記述　——線④「うまくつながらない」とあるが、どういうことか。「会話」という言葉を用いて、具体的に書きなさい。

(6) ——線⑤「空気を持て余して、窓の外を見つめるしかなくなってしまう」とあるが、どういう状態か。簡潔に書きなさい。

二人ともこの後、どうしたらいいかわからず［　　］状態。

(7) よく出る　「僕」の気持ちを情景描写によって表している部分を、文章中から十八字で書き抜きなさい。

(8) ——線⑥「今日はなんとかなるかもしれない」に込められた「僕」の気持ちとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［　　］

ア　みんなに尊敬されるような見事なプレーをしなければならないと張りつめている。

イ　チームの力になれるように競技に集中しようと、気持ちを引きしめている。

ウ　よいプレーをして、みんなと親しくなるためのきっかけをつかめることを期待している。

エ　一緒に競技することで、自分の実力を知ってもらえるだろうと確信している。

教科書30～32ページ

練習問題 2

◆次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今日の放課後、何人かの男子で盛り上がっていた。「僕も行こうかな。」そう言うすき間はいくつかあって、間もあった。でも、声は出なかった。入学式から何度かのきっかけをやり過ごしていく中で、①ハードルは高くなるばかりだった。

（中略）

スーパーにはみんながいるかもしれないから、僕は駅とは反対方向の小さな駄菓子屋に向かった。「いらっしゃい。」と眼鏡をかけたおじいさんがかすれた声で言うのに、「どうも。」と軽く頭を下げながら、お菓子を探す。この期に②およんで、みんなと交換しやすい物がいいな、なんて考えてしまう自分が情けない。

③「ここにも売ってるんだ。」

いくつかお菓子をかごに入れた僕は、なつかしいパッケージを見つけ手に取った。昔よく食べたかたい梅干しのお菓子。父さんが好きだったせいで、僕は幼稚園のころから気に入って食べては、すっぱいのにと周りをおどろかせていた。でも、これじゃだれも欲しがらないよな。そう思って④棚にもどそうとすると、

「お、俺もそれ買おうと思ててん。」

と声が聞こえた。毎朝聞いている声だ。振り返ると、川口君がいた。

⑤「宮下君も、梅干しのお菓子、好きなんや。」

と聞かれて、僕は「すっぱいけどね。」とうなずいた。

「せやねん。すっぱいのに俺はじいちゃんが好物やから、しょっちゅう

(1) ——線①「ハードルは高くなる」とはどういうことか。次の文の□に当てはまる言葉をそれぞれ五字程度で書きなさい。

クラスで［　　5　　］ことが［　　］ということ。

(2) よく出る ——線②「自分が情けない」と感じる理由として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（　　）

ア　自分からは何もせず、誰かが誘ってくれるのを待っているから。

イ　みんなと会わないようにしているのに、仲良くなる方法を考えているから。

ウ　みんなと話すのがこわいのに、気に入られる方法を考えているから。

エ　みんなに避けられているのに、気づかないふりをしているから。

(3) ——線③「ここにも売ってるんだ」とあるが、このときの「僕」の気持ちを説明した次の文の（　）に当てはまる言葉を簡潔に書きなさい。

昔よく食べたお菓子を見て、（　　）気持ち。

(4) ——線④「棚にもどそうとする」とあるが、なぜか。次の文の□に当てはまる言葉を文章中から書き抜きなさい。

［　　］お菓子を持って行っても、［　　］することはできないから。

食べてる。」
「僕も小さいころから食べてた。」
「そうなんや。」
「うん。そう。」
「そっか。」
教室の外で会ったって、相変わらず僕らの会話は□。
「……えっと、明日の野外学習にこれ、持って行こうかな。」
僕が⑥とどこおりそうな空気をふっ切るように、お菓子をかごに入れると、
「ああ、俺も。つかれたとき、梅干し食べるとええって言うし。」
と川口君も手に取った。
川口君と僕はいつもと同じようにぎこちない。ついでに、店を出ると最近続いているぼんやりとした花曇りだ。でも、僕が手に提げた小さなふくろの中には⑦あまずっぱい梅干しがちゃんと入っている。
（瀬尾まいこ「花曇りの向こう」より）

30　25

間違いやすい漢字を押さえよう

太字は文章中に出てくる漢字です。

・同じ部分をもつ漢字に注意して練習しよう！

幼稚園　幼稚園
推測　推測
難問　難問

(5) ——線⑤「宮下君も、梅干しのお菓子、好きなんや」とあるが、このときの川口君の気持ちとして適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。（　　）（　　）

ア「僕」と話すきっかけをつかめそうだと思っている。
イ「僕」がすっぱいお菓子が好きだとは信じられないと思っている。
ウ誰にも会いたくなかったので、「僕」に会ってとまどっている。
エ「僕」と自分との共通点を見つけてうれしく思っている。

(6) □に当てはまる言葉として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（　　）

ア 軽々しい　イ なれなれしい
ウ 重苦しい　エ たどたどしい

(7) よく出る ——線⑥「とどこおりそうな空気をふっ切るように」とあるが、どうしたということか。次の文の□に当てはまる言葉を文章中から書き抜きなさい。

会話がとぎれてしまわないよう、話す□を失うまいとしたということ。

(8) ——線⑦「あまずっぱい梅干し」とあるが、「梅干し」を「あまずっぱい」と表現していることからどのようなことが読み取れるか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（　　）

ア「僕」が、川口君との話に物足りなさを感じていること。
イ「僕」の気持ちが、さらに落ち込んでいること。
ウ「僕」が、少しだけ晴れやかな気持ちになっていること。
エ「僕」が、ほこらしい気持ちになっていること。

教科書 26〜34ページ

定期テスト予想問題

花曇りの向こう

瀬尾まいこ

／100

■ **次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。**

今日の放課後、何人かの男子で盛り上がっていた。「僕も行こうかな。」そう言うすき間はいくつかあって、間もあった。でも、声は出なかった。入学式から①何度かのきっかけをやり過ごしていく中で、ハードルは高くなるばかりだった。

（中略）

スーパーにはみんながいるかもしれないから、②僕は駅とは反対方向の小さな駄菓子屋に向かった。「いらっしゃい。」と眼鏡をかけたおじいさんがかすれた声で言うのに、「どうも。」と軽く頭を下げながら、お菓子を探す。この期におよんで、みんなと交換しやすい物がいいな、なんて考えてしまう自分が情けない。

「ここにも売ってるんだ。」

いくつかお菓子をかごに入れた僕は、なつかしいパッケージを見つけ手に取った。昔よく食べたかたい③梅干しのお菓子。父さんが好きだったせいで、僕はヨウチエンのころから気に入って食べては、すっぱいのにと周りをおどろかせていた。でも、これじゃだれも欲しがらないよな。そう思って棚にもどそうとすると、

「お、俺もそれ買おうと思ててん。」

と声が聞こえた。毎朝聞いている声だ。フリ返ると、川口君がいた。

「宮下君も、梅干しのお菓子、好きなんや。」

と聞かれて、僕は「すっぱいけどね。」とうなずいた。

(1) ——線㋐〜㋔の片仮名は漢字で、漢字は読み方を平仮名で書いて答えなさい。（各2点—10点）

㋐	
㋑	
㋒	
㋓	
㋔	

(2) ——線①「何度かのきっかけをやり過ごしていく」とは、どういうことか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（10点）

ア　自分の気持ちに気づいてもらえる機会が何度かあったのに、うまく話せなかったということ。

イ　みんなのことをよく知る機会が何度もあったのに、わざと気づかないふりをしていたということ。

ウ　みんなと仲良くなれる機会が何度かあったのに、積極的に生かそうとしなかったということ。

エ　みんなに話しかけてもらう機会が何度もあったのに、気づけなかったということ。

(3) 記述 ——線②「僕は駅とは反対方向の小さな駄菓子屋に向かった」とあるが、なぜか。文章中の言葉を用いて簡潔に書きなさい。（20点）

(4) ——線③「梅干しのお菓子」は「僕」にとってどのようなものか。次の文の□に当てはまる言葉を文章中から書き抜きなさい。（各10点—20点）

「せやねん。すっぱいのに俺はじいちゃんが好物やから、しょっちゅう食べてる。」
「僕も小さいころから食べてた。」
④そうなんや。」
「うん。そう。」
「そっか。」
教室の外で会ったって、⑤相変わらず僕らの会話はたどたどしい。
「……えっと、明日の野外学習にこれ、持って行こうかな。」
僕がとどこおりそうな空気をふっ切るように、お菓子をかごに入れると、
「ああ、俺も。つかれたとき、梅干し食べるとええって言うし。」
と川口君も手に取った。
川口君と僕はいつもと同じようにぎこちない。ついでに、店を出ると最近続いているぼんやりとした花曇りだ。でも、⑥僕が手に提げた小さなふくろの中にはあまずっぱい梅干しがちゃんと入っている。

（瀬尾まいこ「花曇りの向こう」より）



(5) ——線④「そうなんや」は誰の言葉か。文章中から書き抜きなさい。（10点）

(6) 記述 ——線⑤「相変わらず僕らの会話はたどたどしい」とあるが、どのような点が「たどたどしい」のか。次の文の（　）に当てはまる言葉を考えて書きなさい。（各10点—20点）

昔よく食べた［　　］お菓子だが、他の人と親しくなる［　　］にはならないと思えるもの。

(7) ——線⑥「僕が手に提げた小さなふくろの中にはあまずっぱい梅干しがちゃんと入っている」とあるが、このときの「僕」の心情の説明として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（10点）

ア　川口君のことを、梅干しのお菓子を通して知ることができて、本当の友達になれたと確信している。
イ　川口君と話せたことで、みんなとなじめないのは自分の考え過ぎだったと反省している。
ウ　川口君と梅干しのお菓子を通してほんの少し親しくなれたことで、気持ちが明るくなり始めている。
エ　川口君が梅干しのお菓子を好きなことはわかったが、もっと話していたかったと物足りなさを感じている。

1 野原はうたう

2〜4ページ

練習問題1（3ページ）

◆(1) ゆめ
(2) 例 さまざまなものや出来事に出会うこと。
(3) 例 心・例 体・例 元気（「心」「体」は順不同）
(4) ① 例 太陽〔日光〕 ② ウ

●解説●

(1) 「はなひらく　ひを／ゆめにみて」「まいあがります」に着目する。飛んでいった場所で芽を出し、やがて花を咲かせる未来を夢に見ているのである。

(2) 「こんにちは」は、出会ったときのあいさつの言葉。たくさんの人や出来事に出会えるように、どこまでも遠くへ飛んでいこうと言っている。

練習問題2（4ページ）

◆(1) しんぞう（4字）
(2) ウ
(3) 例 命・例 生きる
(4) ウ・エ（順不同）

●解説●

(1)・(2) 1〜3行目の「わしの　しんぞうは／たくさんの／ことりたちである」に着目する。けやきは、自分の枝に止まっている小鳥たちのぬくもりを、自分を生かしている心臓のように感じている。

(3) 詩の題名の「いのち」と、前半の内容に着目。小鳥たちの命と自分の命とのつながりを、小鳥たちの温かさを通して感じ、だから「いきていて　よい」と、生きていくことを前向きに捉えていることが読み取れる。

(4) 「わし」「○○は…のである」から、けやきは年老いていると考えられる。「だから　……いきていくのである」「だから……いきていて　よいのである」と繰り返すことで、これからも「生きていく」という気持ちを強調している。

定期テスト予想問題　野原はうたう

5ページ

（5ページ）

■(1) イ
(2) 例 逆になっている。〔ふつうの文とはちがっている。〕
(3) ウ
(4) イ

●解説●

(1) 第一連の「ひかり」「はなひらく　ひを／ゆめにみて」、第二連の「あした／たくさんの『こんにちは』に／であうために」に着目する。新しい場所で花を咲かせ、新しい出会いがあることを期待しているのである。ためらいや不安、おそれは読み取れないので、ア・ウ・エは誤り。

(2) 第二連の言葉や文の順序を確かめる。第二連は「あした／たくさんの『こんにちは』に／であうために」「どこまでも」「とんでいこう」という語順になるべきところを、普通の文とは順序を入れ替えているのである。「とんでいこう」という気持ちが表れた部分を最初にもってくることで、その気持ちを強調しているのである。

〈採点基準〉・「逆」「普通の文とはちがう」という意味の言葉があれば可。

(3) 「げんきだぜ」「がんばるぜ」という表現から、元気に満ちている様子が読み取れる。また、「どきどきするほど」「かまを　ふりかざす」「わくわくするほど」などからは、身も心もはずんでいる様子が読み取れる。アの「獲物を探している」、イの「うぬぼれている」、エの「孤独で寂しい気持ち」は、読み取れないので、不適切。

(4) 「げんきだぜ」「おれの　こころも　かまも……ひかってるぜ」「がんばるぜ」「かまを　ふりかざす　すがた……きまってるぜ」などの表現から、元気に満ちあふれていて、自分に自信をもっているかまきりの姿が想像できる。

2 花曇りの向こう／わかりやすく説明しよう

6〜11ページ

漢字のチェック（6ページ）

1 ①くも ②どんてん ③ぼく ④な ⑤いきお ⑥ずつう ⑦おさ ⑧よくあつ ⑨かし ⑩ほ ⑪たな ⑫さ

2 ①汁 ②果汁 ③押さえる ④転勤 ⑤展覧会 ⑥難題 ⑦座席 ⑧競技 ⑨厄介 ⑩敵 ⑪歓声 ⑫抜ける ⑬抜群 ⑭地域 ⑮幼稚園 ⑯俺 ⑰振り返る ⑱振動

わかりやすく説明しようの漢字

①事柄 ②柄 ③ふせん ④沈む ⑤沈下 ⑥じっさい

漢字を確認しよう（6ページ）

1 ①せんちゃ ②い ③ざんしん ④き ⑤かび ⑥はな ⑦さか〔ちゃか〕 ⑧よくよう ⑨かな

2 ①墨汁 ②墨絵 ③殻 ④地殻 ⑤奇抜 ⑥込む ⑦振幅 ⑧幅 ⑨勧告 ⑩勧める ⑪紹介 ⑫発揮

語句のチェック（7ページ）

1 ①イ ②ウ ③エ ④ア ⑤ウ ⑥ア

2 ①例 早く会いたいと気持ちがはやる。

②例 けがで入院したために仕事がとどこおる。

練習問題1（8〜9ページ）

◆(1) 意思・都合・気が合う仲間 (2) エ (3) A ウ B オ (4) 例 友達を作る (5) 例 「僕」と川口君の会話が続かないということ。 (6) 例 困っている (7) 晴れることを放棄したようなぼやけた空 (8) ウ

●解説●

(1) ——線①の前には、「僕」が父親の仕事の都合で、自分の意思とは関係なく、気が合う仲間と別れて何度も転校をしたことが書かれている。

(2) 気が合う仲間と別れて、知らない場所に来た「僕」は、次の場面にあるように「友達」がまだできていないことで悩んでいる。ばあちゃんは、「僕」の様子を単なる腹痛だと思い、梅干しを食べるように言うが、「僕」の痛みは梅干しで治るようなものではないのである。

(4) 直前の「僕にはまだ友達といえるものはできていない」「小学校のときはもう少し簡単だったはずなのに」に着目する。小学校のときは、転校しても友達はもう少し簡単にできたのに、中学生になった今はそれが難しくなっているのである。

(5) 直前の「それ」は、川口君が毎朝話しかけてくることを受けている。後に「『あ、ああ。そうなんだ。』それで会話は終了」とあることにも着目すると、川口君が話しかけてきても、その後の会話が続いていかないことがわかる。

(6) 「具体的に」とあるので、誰と誰の会話かも明らかにすること。

(7) 会話が続かずに困ってしまい、ただ外を見つめるしかないのである。25行目に「ぼやけた空」に「生ぬるい息をはいた」とあるのに着目する。友達ができず、川口君との話もうまくつながっていかない「僕」の、ゆううつな気持ちが表れている。

(8) 最後の「山崎君の手に当たって、……落ちた」「今日もわずかなとっかかりは……抜け落ちていった」に着目する。うまくプレーできれば、それを「とっかかり」にみんなと親しくなれるかもしれないと期待しているのである。

練習問題2（10〜11ページ）

◆(1) 例 友達を作る（5字）・例 難しくなる（5字）
(2) イ
(3) 例 なつかしく思う
(4) だれも欲しがらない・みんなと交換
(5) ア・エ（順不同）
(6) エ
(7) きっかけ
(8) ウ

●解説●

(1) 「僕も行こうかな」と言う間はあったのに言えず、「きっかけをやり過ごして」しまったこと、後の場面で「みんなと交換しやすい物がいいな」（8行目）と考えながらお菓子を選んでいることに着目する。友達を作りたいのに、きっかけを逃すたびにそれが難しくなっていることがわかる。

(2) 「僕」は、「みんながいるかもしれない」スーパーを避けて、駄菓子屋さんに来た。しかし、お菓子を選ぶときには、「みんなと交換しやすい物がいいな」と、みんなと仲良くなるきっかけを作ろうと考えている。そんな自分を「情けない」と言っているのである。

(4) 梅干しのお菓子はすっぱいので「だれも欲しがらない」と考えて、「棚にもどそうと」したのである。自分は気に入って食べていたのに、欲しがる人がいないために買わないのは、親しくなるきっかけを作るために、お菓子を「みんなと交換」したいと思っているからである。

(5) 川口君の言葉に着目する。僕に「俺もそれ買おうと思ててん」と声をかけて、「宮下君も、……好きなんや」「すっぱいのに……しょっちゅう食べてる」と、自分も好きでよく食べていることを話している。ここから、梅干しのお菓子という、共通の話題をきっかけに話を続けようとしていると考えられる。

(8) 「僕」は、梅干しのお菓子がきっかけとなって、川口君と少しだけ言葉を交わすことができた。それが梅干しを、「すっぱい」ではなく「あまずっぱい」と思わせていると考えられる。今回はきっかけを逃さなかったことで、「僕」の気持ちは少しだけ明るくなっているのである。

定期テスト予想問題　花曇りの向こう

12〜13ページ

■（12〜13ページ）

(1) ㋐ 幼稚園　㋑ ほ　㋒ たな　㋓ おれ　㋔ 振
(2) ウ
(3) 例 みんながいる（かもしれない）スーパーには行きにくかったから。
(4) なつかしい・きっかけ
(5) 川口君
(6) 例 共通・例 話がはずまない（会話が続かない・話が終わりそうな）
(7) ウ

●解説●

(2) みんなが話をしているときに、声をかける機会はあったのに、そうすることができなかったことに着目する。同じようなことを何度も繰り返して、親しくなるきっかけを自分から逃してきたことを「何度かのきっかけをやり過ごしていく」と言っている。

アは、「気づいてもらえる機会」「うまく話せなかった」が不適切。話しかける機会があったのに、話しかけること自体ができなかったのである。イは「みんなのことをよく知る機会」「わざと気づかないふりをしていた」、エは「みんなに話しかけてもらう機会」「気づけなかった」という内容がそれぞれ読み取れない。

(3) 直前で「スーパーにはみんながいるかもしれないから」と理由が説明されている。駄菓子屋に行ったのは、みんながいるところには行きにくい、みんながいる所は避けようという気持ちがあったことまで説明する。

〈採点基準〉
・文末は、「……から。」「……ため。」など、理由を表す形にする。
・「スーパーにはみんながいる（かもしれない）」ということが書けていること。
・「行きにくい（避けよう）」という「僕」の気持ちが書けていること。

(4) 「僕」は、「なつかしいパッケージ」を手に取って、昔のことを思い出して

いるが、そのお菓子を「だれも欲しがらない」と思って棚にもどそうとしている。それは、お菓子を交換して、みんなと親しくなるきっかけにしたいと考えているからである。

(5) 会話の流れだけでなく、「僕」と川口君の言葉遣いの違いからも考える。直前の「僕も小さいころから食べてた」は「僕」の言葉。「僕」は共通語で話し、川口君は方言を使っていて、自分のことは「俺」と言っている。

(6) 川口君が、「お、俺もそれ買おうと思ててん」「宮下君も、梅干しのお菓子、好きなんや」と話しかけてきたことで、梅干しのお菓子についての会話が始まったが、「僕」の「僕も小さいころから食べてた」の後は、「そうなんや」「うん。そう」「そっか」という相づちが続くだけになっている。せっかく共通の話題が見つかったのに、話がはずむことなく、このまま終わってしまいそうな状態になってしまったことを「たどたどしい」と表現しているのである。

〈採点基準〉・「話がはずまない」は、「会話が続かない」なども可。「話」「会話」の様子を説明したものになっていなければ不可。

(7) 川口君との話を終えて外に出た「僕」が見たのは、最近続いている「花曇り」というすっきりしない空の様子である。その描写と――線⑥が「でも」という逆接の言葉でつながっていることに着目する。空の様子とは対照的な気持ちになり始めていると考えられる。

梅干しのお菓子を話題にして、川口君と言葉を交わし、お互いに同じお菓子が好きだとわかった。これまで何度も逃してきた、仲間を作るきっかけを、今日はつかむことができ、川口君と少しだけ親しくなることができた。この出来事で「僕」の気持ちは救われ、少し明るい気持ちになっていることが、「あまずっぱい梅干し」「ちゃんと入っている」という表現から読み取れる。「僕」の状況が少しずつよくなっていくことを予感させている。

アは、「本当の友達」になったとまではいえないので、不適切。イの「反省」、エの「物足りなさ」は読み取れない。

3 漢字の組み立てと部首

14〜15ページ

漢字のチェック（14ページ）

1
① ちょうか　② こ　③ じんぞう
④ がんこ　⑤ はへん　⑥ えりもと
⑦ おせん　⑧ きたな　⑨ きょうじゅん
⑩ みょうじょう　⑪ じょうしょう　⑫ のぼ

2
① 提供　② 刻む　③ 疲労　④ 疲れる　⑤ 潔癖
⑥ 癖　⑦ 越境　⑧ 越える　⑨ 劣等　⑩ 劣る
⑪ 起訴　⑫ 訴える　⑬ 手袋　⑭ 安泰　⑮ 苦悩
⑯ 悩む　⑰ 懸命　⑱ 懸かる

練習問題（15ページ）

1 (1) にすい・キ　(2) てへん・ケ　(3) おおがい・コ　(4) くにがまえ・オ　(5) りっとう・ウ　(6) うかんむり・ク　(7) さら・カ　(8) れんが（れっか）・ア　(9) やまいだれ・ス　(10) けものへん・シ　(11) もんがまえ・イ

2 (1) エ　(2) オ　(3) カ　(4) ウ　(5) イ　(6) ア　(7) キ

3 ① ・部首…力　・よび名…ちから　② ・部首…广　・よび名…まだれ　③ ・部首…攵　・よび名…えんにょう

●解説●

1 漢字のへんやつくり、たれなどの部分は、漢字のおおまかな意味を表している。部分の形を見ただけでは表す意味のわかりにくいものもあるので、「冫」なら「冷」、「頁」なら「顔」「頭」、「皿」なら「盛」など、各部分をもつ漢字を思い浮かべて、意味を考える。

2 「心」「忄」「⺗」は「心」という部首、「人」「亻」「𠆢」は「人」という部首、というように、同じ部首でも形の異なるものがあるので注意する。